

牛群検定ビッグデータ（その16）

～難産率～

牛群検定のビッグデータから分かる色々なことを本コーナーで紹介していきます。今回は、難産率についてです。

牛群検定では、分娩難易を5段階で報告しており、そのうち「2～3人を必要とした助産」以上のものを、難産としています。

令和元年には全国で約50万件の分娩がありました。それを産次別に見ると、初産の難産率は4.82%と高く、2産で3.18%と下がりますが、産次が進むにつれて徐々に難産率も高くなりました。初産に限って見ると、難産率は改善の傾向にあります。

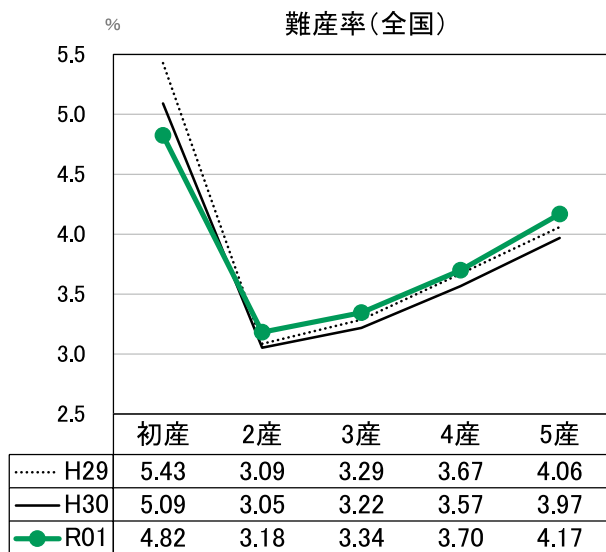


表 牛群検定における分娩難易

コード	内容
1	自然分娩
2	ごく軽い分娩介助
3	2～3人を必要とした助産
4	数人を必要とした難産
5	外科処置または母牛死亡

難産

乳用牛群能力検定成績のまとめ（家畜改良事業団）を元に作成 <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/newmilk/>

